

# CWA NEWS



## 新型インフルエンザ流行の影響により 千葉県友好使節団の派遣を中止しました

千葉ウィスコンシン協会では、今年度(2009年)の交流事業として「千葉県友好使節団」のウィスコンシン州派遣を予定しておりましたが、新型インフルエンザの日本およびアメリカでの流行が報道されており、団員が国内やアメリカで新型インフルエンザに感染する恐れや、文化公演先の学校が休校になる可能性など、リスクを総合的に検討した結果、今年度の派遣を中止し、来年度に延期することといたしました。

姉妹交流のパートナーであるウィスコンシン千葉委員会のジョージ委員長からは、私たちの決定を受け入れるとともに、来年度の交流を楽しみにしているとの温かいメッセージをいただきました。

使節団は派遣できなくなりましたが、両県州の友好関係を発展させ、姉妹交流の輪をさらに広げていくため、バスツアーをはじめ、さまざまな事業を引き続き実施してまいりますので、今後ともご支援くださいますよう、心からお願い申し上げます。



前回(2007年)派遣時の様子



### ジョージ委員長からのメッセージ(抜粋)

I have conveyed the news to the Wisconsin Chiba Inc Board that the Chiba Goodwill Delegation will not be coming to Wisconsin this year.

They understood the decision, and that understanding was mixed with the disappointment of not seeing the Delegation this year. We hope that the H1N1 virus will be short-lived and we look forward to working with the Chiba Wisconsin Association to plan for our exchange(s) in 2010.

ウィスコンシン千葉委員会のメンバーに、「千葉県友好使節団」が来られなくなつたことを伝えました。彼らは、友好使節団に今年会えなくなったことを残念に思いつつ、千葉ウィスコンシン協会の判断を理解しました。

新型インフルエンザの流行が早く終わり、2010年の交流に向けて千葉ウィスコンシン協会と仕事ができることを楽しみしております。



## 「第41回日本・米国中西部会 日米合同会議」が開催されました

去る9月13日(日)から15日(火)にかけて、「第41回日本・米国中西部会 日米合同会議」が、東京・帝国ホテルにおいて開催されました。

この会議は、日本と米国中西部諸州の経済関係者や自治体関係者等が一堂に会し、相互交流や理解促進を図ることを目的として、毎年、日米交互に開催されているものです。

今年は、「進展するグローバル経済のもとでの課題と変革」というテーマのもと、日米から約300名の参加者を集めて盛大に開催され、活発な意見交換が行われました。

米国からは、インディアナ州やミシガン州の知事に加えて、ウィスコンシン州のジム・ドイル知事も参加され、今回が初参加となる森田健作知事と初めての対面が実現いたしました。



ジム・ドイル知事



千葉県ブースを訪れた森田知事



森田知事によるスピーチ 手前は茂木会長とドイル知事

また、ウィスコンシン州からの出席者の中には、鴨川市の姉妹都市であるマニトワック市の前市長ケビン・クロフォード氏の姿も見られました。同氏は現在、オリオン・エナジー・システム社の副社長として活躍中ですが、元来、環境問題に関する造詣が深い同氏は、エネルギーと環境保護をテーマとしたパネル・ディスカッションにおいてモダレーターとして活躍されていました。

会議は、最終日に共同声明を採択して、盛況のうちに閉会となりました。来年度は9月にミシガン州デトロイトでの開催が予定されています。

千葉県総合企画部国際室

## グローバルフェスタChiba 2009に参加しました！

千葉県・(財)ちば国際コンベンションビューローなどが主催する「グローバルフェスタChiba 2009」に千葉ウィスコンシン協会も出展団体として参加しました。

開催日当日の8月23日(日)は、天候にも恵まれ、会場の千葉大学には予定を大幅に上回る1,500人もの方々がイベントに参加。メイン会場の「けやき会館」では、脚本家でカンボジアをベースに国際貢献活動をされている小山内美江子さんやTBSテレビ「わくわく動物ランド」で一躍有名になった千石正一先生の講演が行われ、大盛況でした。

会館の外では、中南米やアフリカの音楽、バリ島の舞踊も披露され、国際交流活動の多彩さに驚かされました。

千葉ウィスコンシン協会は、テントでのパネル展示とトルティアを使ったクレープを販売。お昼過ぎには完売するという誤算に、スタッフも大喜びでした。また、来場者の関心を高めようと、アンケートも実施しました。結果は今後の事業に役立てていきたいと思います。



千葉ウィスコンシン協会のブースの様子



アフリカ音楽の演奏



## 曲者な臭物 Lutefisk

千葉ウィスコンシン協会会員  
吉村 亜弥子さん

# ウィスコンシン州 現地だより

千葉県とウィスコンシン州の文化交流は、かれこれ十年以上にわたり行われていますが、特に地元でも知る人ぞ知る個性の強い食べ物は、お目にかかる機会もあまりないのでないでしょうか。そこで大学時代にウィスコンシン州におけるスカンジナビア系移民の文化を勉強した学生として、この場をおかりしてLutefiskをご紹介したいと思います。

Lutefisk(ルタフィスク;lute=lye=灰汁; fish=fish=魚)とは、鰈を加工した食べ物で、昔は保存食としてヨーロッパで食べられていました。冬の寒風にさらし乾燥させた鰈を、水に数日間浸します。それからさらに数日間灰汁につけることにより、たんぱく質を分解させ、魚の肉を軟らかくします。(この時点では強力な灰汁のせいで魚は食べられません!)さらに数日間水をとりかえながら灰汁を抜かし、沸騰させた湯で数分煮るとLutefiskの出来上がりです。昔は食べられるようにするまで一週間以上かかりました。この乾燥した魚を灰汁に浸す際にかなり強烈な臭いが発散します。昔は家中にLutefiskの臭いが充満して大変だったとか。最近では最終段階の茹である前まで加工済みのものが販売されていますから、あまり臭いに悩まされずに食べられます。

Lutefiskは、現在ウィスコンシンではノルウェー、スウェーデン、フィンランドからの移民の子孫が、感謝祭やクリスマスの際に民族文化を尊ぶために食したりします。また、10月下旬からクリスマスの間までには、スカンジナビア系アメリカ人の多い地域の教会が、資金集めとしてChurch Supper(教会主催の食事会)を催します。お年寄りや、他の家族が嫌がるので家で食べられない人などが昔を懐んだりしながら集まります。田舎のレストランでもこの時期にだけメニューに加えることもあります。ですから秋も深まる頃になるとウィスコンシンではLutefiskの季節になるというわけです。

Lutefiskは「アク」の強い食べ物なので、みんな好きか嫌いかどちらか。その強い匂いとゼリーのような食感のため、好んで食べる人の数は少なく、だんだん需要が減ってきているようです。でもその個性が特徴として、特にノルウェー系アメリカ人の間では民族文化の象徴の一つとして親しまれています。例えば、ノルウェー系移民の民族ジョークにはLutefiskジョークは欠かせません。

私が覚えているのは：

- A：ヘイ、最近どうしてる？
- B：いや、家の物置にスカンクがたむろして困っているんだ。
- A：ああ、それならいい退治方法がある。Lutefiskを置いておけば、いくらスカンクでも臭いが強くて我慢できまいよ。

[数日後]

- A：効果あったかい？
- B：うん、スカンクは居なくなったけど、今度はノルウェー系の野郎達が集まっちゃったよ。

私が初めてLutefiskを口にしたのは2000年。食文化に関する学期論文を書くために、Lutefiskを題に選んだのでした。体験するためにマディソンの教会のChurch Supperに出向いたのですが、建物中が魚臭く、初めて目にしたときは、Lutefiskは皮がむかれたグレープフルーツのようにテカテカしていたのを覚えています。マッシュポテトや茹でた根菜、スウェーデン風ミートボールなどがテーブルに廻ってきます。それからLutefiskとなるべく民族食、ジャガイモを作るクレープLefseも。これらをお皿にこんもり盛って、たっぷりの溶けたバターをかけていただくのです。食後はパイとコーヒーでお腹がいっぱい。15ドルくらいで食べたい放題です。

噂によると、子孫の先祖の母国ノルウェーでも、昔懐かしい郷土食として、最近ブームになりつつあるようですが、さてLutefiskの将来や如何に？皆さんも10月下旬から11月下旬にウィスコンシンを訪れる機会がありましたら是非、この地元の民族食に挑戦してみて下さいね。



ジョークの載っているポスター

“Try lutefisk at your own luterisk”とは、「己の危険を覚悟してLutefiskを食べるよう」にという忠告です。fishとriskが掛けられていますね。

### ＜吉村亜弥子さんプロフィール＞

東京都生まれ、長野県育ち。1998年からウィスコンシン大学マディソン校で民俗学を学び、現在は博士課程に属しています。千葉県とウィスコンシン州の国際交流には、2001年に、民俗学の教授と州政府に勤める民俗学者の紹介で、千葉県の伝統工芸に携わる方々がState Fairで発表される際にお手伝いしたことがきっかけとなり、以降数回ボランティアとして協力させていただいております。千葉県は祖父母が住んでいたので 子供の頃毎年訪ねていました。千葉県出身ではありませんが、千葉には親しみを感じております。

# バスツアーノ御案内

2009年11月14日(土)に、恒例となりました「バスツアーノ」を開催します。

今回は、野田市中心部をはじめ、千葉県の最北端、利根川水運の中継地として栄えた関宿を訪問し、かつての関宿城の天守閣を再現した「関宿城博物館」で、この地の歴史を振り返ります。また、昼食には、野田市・清水公園でバーベキューを楽しみながらの交流会を予定しています。

詳細は、近日中に千葉ウィスコンシン協会のホームページでお知らせしますので、どうぞご家族・お友達等お誘い合わせの上、奮ってご参加ください。



関宿城博物館



## 第3回

ミニコラム～会員による自由なテーマによる投稿です。

### ワンダラー???

大浦京子

海外旅行先での失敗談ならいろいろあるのですが、その中で1番古いところを紹介します。

ロサンゼルスのオムニホテルでのこと、私たちは夕食後、日本へ出すはがきと25セント切手4枚を持ってフロントへ行きました。

私：「ハウマッチ、イズイツ？（おいくらですか？）」

フロントマン：「ワンダラー」

私：「????？」 とりあえず、25セント切手を2枚出してみる。

フロントマン：「ノーノー、ワンダラー」

私：「????？」 しようがないので、25セント切手をもう1枚出す。

フロントマン：「ノーノー、ワンダラー」

私：「????????」 ええいと、残りの25セント切手1枚を出す。

フロントマン：「オーケー、ワンダラー」

私：な～んだ、やっぱり1ドルじゃないの・・・

読者の皆さんならもうお分かりですよね。

私たちの乏しい英会話能力では、「ワンダラー」と「1ドル」が同じとは分からなかったのです。

後で気がつき恥ずかしい思いで一杯になりましたが、よくもまあフロントマンも私たちに付き合ってくれました。今となってはトホホの思い出です。



#### 【編集後記】

冒頭の記事でお知らせしましたが、新型インフルエンザ流行の影響により、今年の使節団派遣が見送りとなってしまいました。とても残念です。これからだんたんと寒くなってきますが、皆様も体調を崩されませんよう、旅行や食など秋の楽しみを満喫してください。  
(Nao)

発行所：千葉ウィスコンシン協会

発行人：森山茂男 編集人：榎田直美

<http://www.chiba-wisconsin.jp/>

〒261-7114 千葉市美浜区中瀬2-6 WBGマリブイースト14階

(財)ちば国際コンベンションピューロー内

\*電話でのお問い合わせ ☎043-223-2398(千葉県国際室)